

〈現状と課題〉

- 若い女性の県外流出が多い
- 大半の若者は農業を職業として見ていない
(魅力が伝わっていない、農業=生産だと思われがち、ハードルが高いイメージ)
- 女性に焦点をあてた農業分野の取組は十分とは言えない
- 過去5年間の女性新規就農者数は年30~40人程度で横ばい
〈参考〉新規就農者数(R1) 158人 (うち女性33人(21%))
- 若者の移住相談が増えており、田園回帰の動きが広がっている

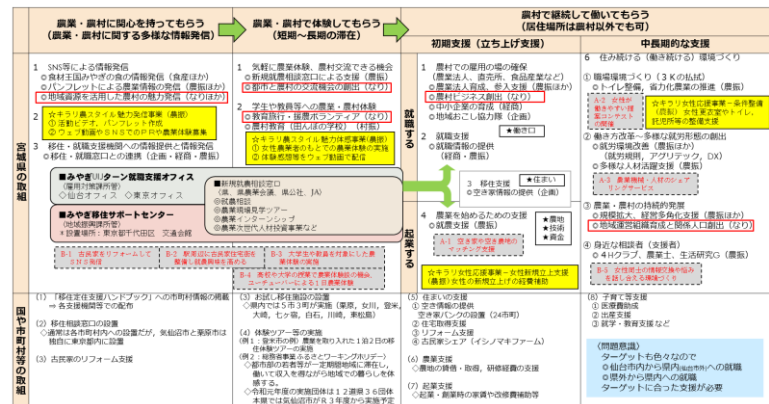
女性に農業・農村の魅力伝えることで可能性が広がる

若い女性が
・身近でおしゃれな農村
・気軽に儲かる農業
と思える環境づくりが必要



- 関係者との意見交換
 - ・若手職員による部内検討会(4回)
 - ・部局横断の検討チーム(3回)
 - ・女性農業者への聞き取り(1回)

全体像 ~女性が宮城県で就職し、住み続けるための取組~



〈取組の方向性〉

女性視点の自由な発想で農業のイメージを変革!

- ①若い女性の感性に響く農業・農村の**魅力の発信**と**体感する機会の創出**
- ②女性が農村地域で**起業・就職**し、安心して**働き続けられる環境づくり**

- 連携機関
- ・企画部 (移住サポートセンター)
 - ・経商部 (UIターン就職支援オフィス)
 - ・教育庁 (農業高校対象の職業体験) など

〈取組の効果〉

- ・新規就農者のうち女性の割合 21% (R1) → 30% (R6)
- ・女性の新規就農者数 (年間) 33人 (R1) → 48人 (R6)

キラリ輝く女性の活躍と魅力発信の好循環が生まれ 持続可能で活力ある農業・農村が実現!



女性の経営への関与と収益性には**相関**があり(※)、本取組により女性の活躍を促進することで**農業産出額の向上**にも寄与

※食料・農業・農村白書(令和2年6月、農林水産省)より

①「キラリ!農スタイル」魅力発信事業

20代女性向けに地域で輝く女性農業者の生活(経営)スタイル「キラリ!農スタイル」の発信及び体験の実施
実施期間: R4~R6
予算規模: 6,175千円 (地方創生)

▶「キラリ!農スタイル」魅力体感事業

- ・地域で輝く女性農業者のもとで農業体験を実施
- ・農業体験参加者等による農業の魅力発信

法人で働きたい
起業したい

- 準備段階も支援
- ☑就農相談
 - ☑研修支援
 - ☑求人紹介
 - ☑1日バイト
 - ☑農地確保
 - ☑住居確保
 - ☑技術支援

就農しなくても
食べて応援

☑県産農畜産物の消費拡大

②みやぎのキラリ輝く女性応援事業

地域で輝く女性農業者の増加に向けた条件整備や資質向上への支援
実施期間: H28~R6 ※下線部を変更
予算規模: 15,500千円 (R3:15,500千円, 地方創生)

▶女性が働きやすい条件整備事業 [農業法人等向け]

- (補助上限300万円, 補助率1/2)
- ・女性用更衣室やトイレの設置, 育児スペースや託児所の整備等, 就労環境・受入環境の整備補助
- ・女性新規部門展開に必要な施設や機械の整備補助

▶女性農業者サポート事業

- ・女性農業者交流事業, セミナー等